

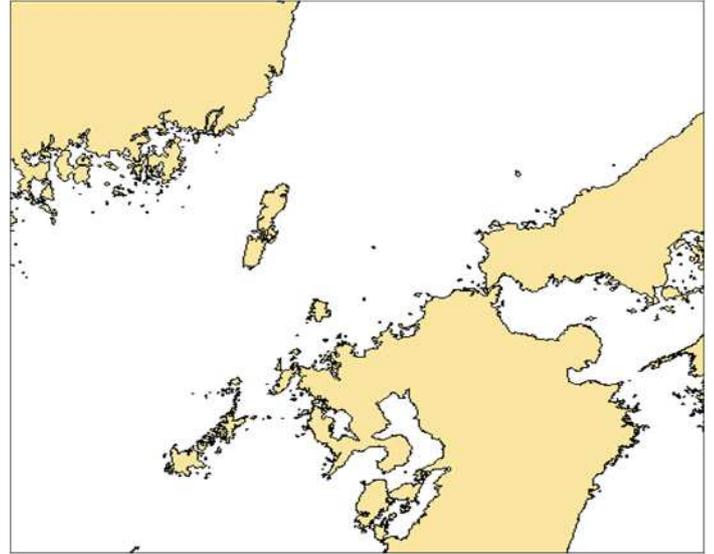
平成30年9月 七管内漁船海難 計10隻

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	7
乗揚	1
火災	1
転覆	1
合計 10 隻	

	県別内訳	
	9月	H30累計
山口県	3	7
福岡県	1	12
佐賀県	1	5
長崎県	3	34
大分県	2	12

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

9月の漁船海難発生地点



大破したB丸

<事故事例> 見張り不十分・回避動作不適切

A丸は、進路上に船舶を認めなかったことから、自身の漁具にのみ気をとられ、見張り不十分のまま航行を続けた結果、B丸に衝突してしまいました。

B丸は、漂流して一本釣り漁をしていたところ、A丸が自船に向かって航行しているのを認めましたが、A丸が避航するだろうと決め付け、衝突回避動作を取らなかったため衝突、船体が大破してしまいました。

漂流中、錨泊中でも衝突回避動作は義務です！

海上衝突予防法では、漂流中、錨泊中でも衝突を避けるための最善の協力動作(避航動作)をとらなければなりません。



見張りを厳重にして安全な航行に心がけましょう！



平成30年11月1日、灯台150周年を迎えます。